

一般質問発言通告書

発言順位	8 番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 22 番 岡田 美喜子

質問事項 1	小中学校の空調設備の早期実現に向けて
具体的内容	近年、猛暑が続き、学校での学習環境の改善は喫緊の課題である。本市の小中学校では普通教室の空調設置は完了したが、特別教室は設置率 52.6%にとどまっている。また、学校体育館についてはスポットクーラーや扇風機の設置はされたが、エアコン設置はなく、教育環境の改善と避難所機能の強化という観点から早急な整備が求められる。設置費用に加え、電気代や保守点検などの維持管理も課題であることから、国の補助制度等を活用した財源確保と長期的なメンテナンス体制の整備が求められる。
1	小中学校の特別教室における空調設備の現状と今後の整備計画について伺う。
2	学校体育館は児童生徒の授業や部活動だけでなく、防災拠点・避難所としての役割りを踏まえた空調設備の設置が求められるが現状の取組みと今後の整備方針について伺う。
3	国の補助制度等を活用した財源確保について伺う。
4	空調設備の維持管理費への対応とメンテナンス体制の構築について伺う。
質問事項 2	ものづくりによる次世代育成と教育支援について
具体的内容	三島市には、伝統的なものづくり企業や職人が点在しているが、子どもたちや市民が直接触れる機会は限られている。近年、子どもたちの体験活動や探求学習の重要性が高まり、特に「ものづくり体験」は、創造力や課題解決力、協調性を育む教育として注目されている。本市では、少年少女発明クラブが活動し、毎年約 60 名の子どもたちが工作や発明を通してものづくりの楽しさを体験しているが、希望者全員が参加できる状況にない。将来の技術者や創造的人材を育成するために、STEAM 教育の推進や地域の企業・団体との連携を通じて、より多くの子どもたちがものづくりに触れる機会を提供することが求められている。
1	小中学生に対するものづくり教育の現状と課題の把握について伺う。
2	少年少女発明クラブ等の活動に対し、会場や指導員、財源の確保など具体的な支援策を伺う。
3	発明クラブや地域企業との連携、高校・大学との協働などにより、より多くの子どもたちが参加できるものづくり体験の機会を充実できないか。
質問事項 3	三島駅北口の渋滞緩和と雨水対策について
具体的内容	三島駅北口周辺は、市内外から多くの人が利用する交通の要所であり、通勤・通学や観光の拠点にもなっている。しかし、朝夕の通勤通学時間帯には交通が集中し、特に北口ロータリーや周辺道路で慢性的な渋滞が発生している。
	また、近年の局地的な大雨により、駅周辺で雨水がたまりやすい箇所も見受けられ、公共交通の安全性や市民の利便性に影響を及ぼしている。
	これらの課題は、駅の利用促進や観光振興の観点からも早急な対応が求められる。
1	北口周辺の朝夕の渋滞解消に向けて調査や具体的な対策の検討について伺う。
2	北口ロータリーの構造改善や公共交通の調整、自動車・歩行者の動線の見直しについて伺う。
3	豪雨時における駅北口周辺の雨水対策について、排水機能の課題と改善計画をどのように検討しているか。
4	駅北口の将来的な交通拠点整備のビジョンについて伺う。